

竹谷新田宗門人別改帳（前欠）概要

- 1: 文書群番号 065006-2
- 2: 文書群名 竹谷新田宗門人別改帳（前欠）
- 3: 出所 竹谷新田
- 4: 家業・役職等 -
- 5: 地名 摂津国川辺郡竹谷新田／兵庫県川辺郡竹谷新田／尼崎市竹谷新田／尼崎市竹谷町ほか
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／別所組戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
- 7: 歴史 竹谷新田は市域南部、蓬川東岸に位置し、西難波地内に開発された新田である。開発年代は17世紀と考えられる。天明8年（1788）の村高は211石余、家数53軒・人数302人。寛文9年（1669）、村内に出屋敷（宮町新家）が建設され、中国街道が付け替えられ、町場を形成した。
- 8: 伝来 昭和40年（1965）10月に古書籍商より史料館が購入し、平成16年（2004）7月に整理・目録作成を完了した。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 1点（目録件数1件）
- 11: 年代 嘉永4年（1851）
- 12: 構造と内容 宗旨人別改帳の末尾のみの残欠。表紙及び本文47丁分欠損。旦那寺、村役人、大庄屋の請書のみが残っている。記載されている寺名から竹谷新田の浄土宗分宗門人別改帳との推定が可能である。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 近藤浩二